

公益社団法人日本学生陸上競技連合 2026年度(令和8年度)事業計画

(事業目的)

公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、「この法人」という。)は、日本の学生陸上競技界を統括し、かつ代表する学生の競技団体として、学生陸上競技の普及・振興を図り、学生の心身の健全な発達と明るく豊かな学生生活の形成に寄与することを目的とする法人である。

(基本方針)

以上を目的とし、次の3点を軸に事業計画を策定した。

(1)学生陸上競技に関する競技会を円滑に開催する。

(2)学生陸上競技界の競技力向上を図るため、競技者の国際競技会への派遣及び外国の学生競技者の国内競技会への招致を積極的に推進する。

(3)陸上競技の普及・振興を図るため、関係団体と協力し競技者が快適に競技に取り組むことが出来る環境の整備を推進する。

■公益目的事業

公1ー競技会

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・参加数	備考
1	2026 日本学生陸上競技個人選手権大会	2026年 4月24日(金) ～26日(日)	レモンスタジアム 平塚	男子18 女子18	100校…600名 100校…600名	※ｽｰﾂ振興基金助成金を申請 ※報奨金授与予定 ※日本学生対校男女10000mを期間中に開催
2	秩父宮賜杯第66回 実業団・学生対抗陸上競技大会 オールスターナイト陸上	2026年 6月27日(土)	レモンスタジアム 平塚	男子9 女子9 (予定)	各種目3名+3 名による対抗 戦	【後援】 スポーツ庁(予定) 秩父宮賜杯 <総合優勝> 内閣総理大臣杯(予定)<総合優勝> 文部科学大臣杯(予定)<男子団体優勝> 厚生労働大臣賞(予定)<女子団体優勝> →申請予定 ※グランプリシリーズに参入予定
3	天皇賜盃第95回 日本学生陸上競技対校選手権大会	2026年 9月5日(土) ～7日(月)	日産スタジアム/横浜市	男子22 女子22	135校/1100名 120校/900名	【表彰】 天皇賜盃 <男子総合優勝> 秩父宮妃杯<女子総合優勝> ※ｽｰﾂ安全協会ｽｰﾂ普及奨励助成金申請予 定 ※男女10000mは日本学生個人期間中に開催
4	第38回 出雲全日本大学選抜駅伝競走	2026年 10月12日 (月/祝)	出雲市 45.1km 全6区間		国内…21チーム 海外…1チーム	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 内閣総理大臣杯(予定)<優勝校> 文部科学大臣賞(予定)<優勝校> →申請予定
5	第44回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2026年 10月25日(日)	仙台市 38.0km 全6区間		25校+1チーム (東北学連選抜)	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
6	秩父宮賜杯第58回 全日本大学駅伝対校選手権大会	2026年 11月1日(日)	名古屋市 ～伊勢市 106.8km 全8区間		25校+2チーム(全 日本学連選抜 チーム/東海学連 選抜チーム)	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
7	2026 全日本大学女子選抜駅伝競走	2026年 12月30日(水) 予定	富士宮市 ～富士市 43.8km 全7区間		22校+2チーム(全 日本大学選抜 チーム/静岡県学 生選抜チーム)	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
8	第30回日本学生ハーフマラソン選手権大会兼ワールドユニバーシティゲームズ(2027)日本代表選考競技会	2027年 2月7日(日)	丸亀市		男子300名	香川丸亀国際ハーフマラソン大会と併催
9	第21回日本学生競歩選手権大会兼ワールドユニバーシティゲームズ(2027)日本代表選考競技会	2027年 3月中旬予定	能美市		男子100名 女子 30名	全日本競歩能美と併催
10	第30回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会兼ワールドユニバーシティゲームズ(2027)日本代表選考競技会	2026年 3月21日(日) 予定	松江市		女子100名	まつえレジェンドハーフマラソンと共催

公2-育成 ①競技者育成(競技会派遣等)事業

No.	事業	期日	場所	備考
1	Zevenheuvelenloop 15kmロードレース	2026年 11月15日(日)	オランダ /ナイメーヘン	男女各4名 計8名 役員…学生幹事含め3名程度 ※地区学連推薦選手も同行可とする
2	2027東京マラソン 準エリートの部への選手推薦	2027年3月	東京	特に優秀な競技者はエリートへ推薦

公2-育成 ②競技者・指導者・審判員育成事業

No.	事業	期日・回数	場所	備考	
1	競技力向上のための巡回指導	未定	各地	地区学生陸上競技連盟の要請により講師派遣	
2	競技者育成負担事業	各競技会開催日	各地	・北日本インカレ、西日本インカレに対し補助金(共催事業) ・日本学生個人選手権大会3位入賞者への奨励金授与 ・ハーフマラソン等ロードレース3位入賞者への奨励金授与(検討)	
3	普及指導者育成事業	未定	各地	SMBCとの協働事業として、普及のための指導者育成事業を推進	
4	ドーピングコントロールテスト	4回(予定)	各地	日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟との連携により 競技会検査を実施	
5	アンチドーピングアウトリーチプログラム	2回(予定)	各地	日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟との連携により実施(個人 選手権、日本インカレ等)	
6	新規B級審判員資格認定	各地区講習会を 実施	各地	約1400名 (男子1000名、女子400名)	
7	学生審判員研修会	2回~3回	各地	地区学生陸上競技連盟の要請により講師派遣	
8	栄章贈与	功労章・勲功章の表彰	9月7日(月)	横浜	日本インカレ時に実施、
		日本新記録・日本学生新記録表彰	3月6日(土)	東京	12月31日時点の記録にて決定。栄章贈与式として実施
9	第7回全国大学対校男女混合駅伝競走大会	2026年2月	大阪	主催：関西学生陸上競技連盟 関西テレビ放送 産経新聞社 →共催として参画	
10	第110回クロカン日本選手権	2027年2月	福岡	共催事業として認定し、学生クロスカントリーの普及強化を推進	
11	第72回指導者会議	2027年3月6日	東京	テーマについては後日決定/オンライン併催予定	

公3-調査・研究

No.	事業	期日・回数	場所	備考
1	陸上競技の研究調査	年3回		「陸上競技研究」誌の発行、toto助成申請予定 6月、10月、2月
2	2026年日本学生記録集の発行(記録年鑑)	2027年3月		1000部発行/学生50傑/主催大会/競技会結果を掲載した記録集
3	陸上競技学会25回大会	年1回		主催：日本陸上競技学会 →共催として参画

■法人管理部門

組織力管理

No.	事業等	期日・回数	場所	備考
1	第78回理事会	5月16日(土)	Online	※理事会の回数は暫定 ※臨時理事会・web会議システムによる開催の場合もある
	第79回理事会	6月20日(土)	Online	
	第80回理事会	9月4日(金)	横浜	
	第81回理事会	12月12日(土)	東京	
	第82回理事会	3月6日(土)	東京	
2	第18回定時社員総会	6月20日(土)	Online	臨時社員総会・web会議システムによる開催の場合もある
3	2026年度学生役員会議 第52回学生幹部役員研修会	12月12日(土) 3月5日~6日	東京	参加対象：地区学連幹部学生役員
4	会報の刊行(広報誌)	年3回		各回1000部発行(正会員/名誉会員/役員(地区学連加盟校に配布) 内容：事業の報告、会議議事録等
5	ホームページの運営	随時		日本学連公式ホームページ・携帯サイトの運営
6	学連情報の編集・掲載	毎月		機関誌「月刊陸上競技」に掲載
7	公認競技会開催申請及び記録公認申請	2026年度		日本学連傘下の団体の公認競技会開催受付/日本陸連申請 日本学連傘下の団体の記録公認受付/日本陸連申請
8	会員の入会受付	2026年度		正会員…135名 普通会員(学生)/20,000名を想定(男子15,000名、女子5,000名) 名誉会員…40名 賛助会員…20名